

新たな川崎の未来を考える市民検討会の取組

新たな総合計画策定に向けた市民検討会を、今年7月から8月にかけて無作為抽出した各区600人から参加希望者を募り、年代、性別等を考慮して各区30人を選び開催しました。このたび全区の取組が終了しましたので御報告します。

このような無作為抽出の市民による議論の場づくりは、本市でも新たな試みであり、これまで市政への参加や協働の経験があまりない10代から80代までの幅広い年代の市民から多くの意見を伺うことができました。

いただいた意見を整理し、各局区において参考とするほか、10月に設置する予定の有識者会議及び市民検討会議で活用するなど、総合計画の策定に活かしていきます。

- 午前のワールドカフェでは、7つのグループに分かれて「まちの好きなところ」や「10年後のまち」について活発な議論が交わされました。途中グループ間で席替えをし、新たなメンバーで議論することで、より多くの意見が引き出されました。
- 午後のグループワークは、参加者の関心のあるテーマで4つのグループに分かれ、午前の議論を踏まえながら意見交換しました。市民と行政の役割なども踏まえた、より深い議論が行われ、テーマごとに「まちの方向性」についてのイメージが共有されました。
- 各区共通の意見としては、「まちの好きなところ」では、「交通の利便性がよいこと」、「10年後のまち」では、「安全・安心にまちを歩けたり子育てできるまち」や「多世代で交流できるまち」などが出されました。テーマ別では、市の施策等の情報が市民に効果的に伝わっていない現状の改善や、多世代が互いに支え合う関係づくりなどの意見が多く出されました。

【7区の参加者数のまとめ】

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	平均
2	2	8	9	14	16	18	18	15	17	20	10	11	8	8	4	96	84	180	25

1 川崎区（7月5日（土）10時30分～16時、第4庁舎4階第6・7会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1	0	0	2	3	5	0	4	2	0	3	2	1	3	1	0	11	16	14	17	31

2 宮前区（7月20日（日）10時30分～16時、区役所4階大会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1	0	1	1	0	2	4	2	2	3	4	1	3	0	1	0	16	9	28	12	40

3 幸区（7月21日（月・祝）10時30分～16時、区役所5階第1会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
0	0	2	1	1	3	3	3	3	0	5	2	1	1	0	1	15	11	20	18	38

4 高津区（8月9日（土）10時30分～16時、区役所5階第1・2会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
0	0	0	0	4	2	2	3	1	4	2	2	1	1	1	0	11	12	23	22	45

5 麻生区（8月10日（日）10時30分～16時、区役所4階第1・2会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
0	1	3	2	3	1	2	2	3	2	2	2	2	0	1	0	16	10	33	23	56

6 中原区（8月23日（土）10時30分～16時、エポックなかはら7階大会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
0	1	1	3	1	2	3	1	3	3	2	0	1	1	2	2	13	13	18	17	35

7 多摩区（8月31日（日）10時30分～16時、区役所11階 会議室）

10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		応募総数		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
0	0	1	0	2	1	4	3	1	5	2	1	2	2	2	1	14	13	20	17	37



【お問い合わせ先】 総合企画局都市経営部企画調整課

電 話 044-200-2164（内線 23212）

FAX 044-200-3798（内線 23199）

1 川崎の未来を考える市民検討会 | 川崎区

日時	平成26年7月5日（土）10時30分～16時
会場	川崎市役所 第4庁舎4階第6・7会議室
参加者数	参加27名/応募31名 男女別 男性11名、女性16名 年代別 10代1名、20代2名、30代8名、40代4名、50代2名、60代5名、70代4名、80代～1名

●主な意見（午前）

川崎のいいところ

- ・東京、横浜、羽田、房総へのアクセスが良い
- ・空気がきれいになった
- ・活気がある
- ・人柄が良い、優しい、下町風
- ・経済や産業の発展（グローバル化）している 等

10年後のまち

- ・孤独死にならない様な環境づくり
- ・安全に歩けるまちづくり
- ・市が取り組み改善されていることを小さい頃から教育し、市民1人1人が改善していくまち
- ・元々住んでいる人と移住者のコミュニケーションの場を増やしてより良い市に 等

●主な意見（午後）

自転車利用環境の向上と交通安全対策

- ・公共交通（バス）の利便性を向上させ、駅前の自転車も減らすことで、人にやさしい駅前にしよう
- ・子どもが自転車を買った時に自転車教室を開き、子どもからお父さん、お母さんにマナーを伝えてもらおう 等

高齢化の進行と地域コミュニティの活性化

- ・「行き先（まちの縁側、地域包括支援センター等）」と「担い手（その利用を進める人）」の充実と活性化により、高齢化に向けた対策をしよう
- ・施設の使い方の分かりやすいチラシづくりや、ホームページを見やすくするなど、広報方法を改善しよう 等

総合的な子ども支援の推進

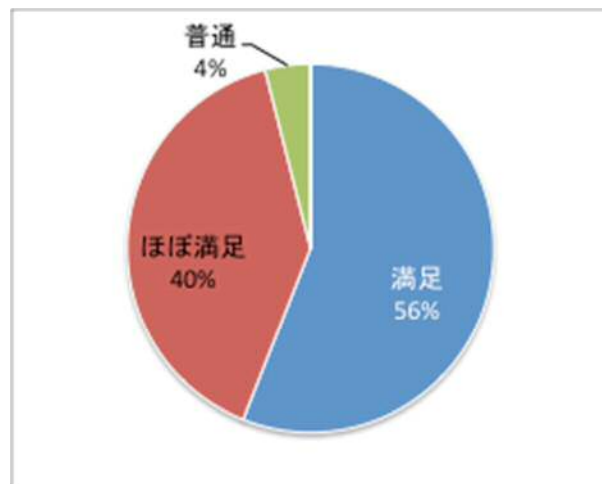
- ・川崎市から支援することで、大企業や工場に保育施設をつくる働きかけをしよう
- ・学校の校庭や使っていない施設、広場を有効利用し、子どもが遊べる場所を増やそう 等

観光・文化資源など地域の魅力を生かしたまちづくり

- ・川崎のイメージを裏返して明るいイメージに変えるための「競輪」のPRと「競輪場」の活用をしよう
- ・子どもと高齢者をつなげるツアーやイベントなどを実施し、互いに支え合う関係をつくろう 等

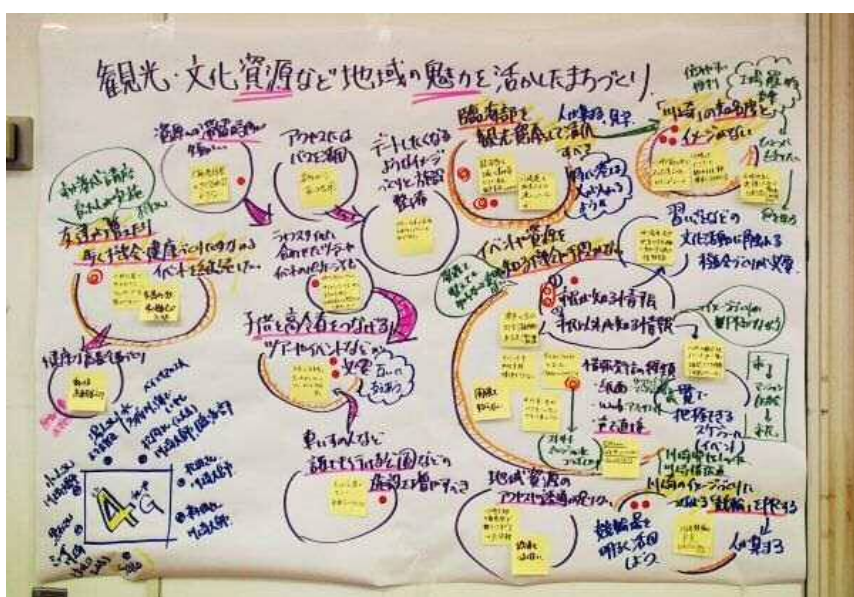
●アンケート結果

満足 14人 ほぼ満足 10人 普通 1人
 やや不満 0人 不満 0人 計 25人



【主な意見】

- 思っていた以上に楽しく、意味のある会だった
- 色々な人と意見を交換することができ、
 新たな発見があって良かった
- 様々な年代の方々との実のある交流を楽しめた
- 皆で楽しく、一生懸命に川崎のことを考えられた



グループ討議の意見
 を整理

討議の様子



2 川崎の未来を考える市民検討会 | 宮前区

日時	平成26年7月20日（日）10時30分～16時
会場	宮前区役所4階大会議室
参加者数	参加25名/応募40名 男女別 男性16名、女性9名 年代別 10代1名、20代2名、30代2名、40代6名、50代5名、60代5名、70代3名、80代～1名

●主な意見（午前）

宮前区のいいところ

- ・買物に便利、都心に出やすい ・教育水準が高い ・都会と田舎の環境が味わる
- ・地産地消の産品がある ・町内会のシルバーの方々がとても頑張っている 等

10年後のまち

- ・経済よりも安心安全のまちづくりを目指す ・省エネモデル都市（防災もかねて）
- ・引越等で外からいらした方々がほっと出来る空気を感じられるまち ・次世代を呼び戻す政策
- ・バスの路線を充実させる（小型バス） 等

●主な意見（午後）

高齢社会における生涯を通じた健康づくり

- ・住民や、企業、商店街などが出資したり、運営するような、ちょっとした移動にも使える身近な交通手段を開発する（バス、トゥクトゥク、人力車）
- ・学校や地域の子どもたちに、お年寄りが「教える場」をつくる（心の健康） 等

総合的な子ども支援の推進

- ・学童プラザ（仮称）を、学びと防災と地域コミュニティの拠点にしよう
- ・土曜日に授業するなど、学校の教育カリキュラムや体制などを見直そう！（お母さんの負担↓） 等

駅前拠点整備と身近な地域の交通

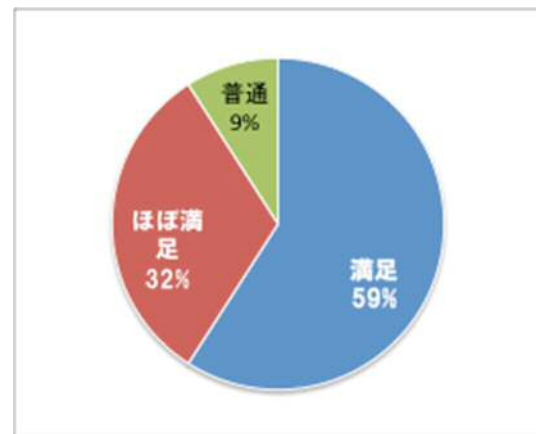
- ・高齢者も外出しやすいようにコミュニティバスなどでバス路線を増やしたい（不便な地域にアンケートをとってニーズを把握する）（フリー降車区間の設定や回送車の有効活用などを検討しよう）
- ・鷺沼駅のロータリーや駐輪場、憩いの場などの機能を強化したい（再開発や時間帯による自動車規制によって） 等

地域活動・地域コミュニティの活性化

- ・地域で活動する際に集まれる拠点が近くに必要
- ・地域活動、コミュニティの場の情報のPRに工夫が必要 ex) 重要なものは全戸配布、身近なもの、必要なものだと一目でわかる 等

●アンケート結果

満足 13人 ほぼ満足 7人 普通 2人
やや不満 0人 不満 0人 計 22人



【主な意見】

- 参加者の意見を十分に反映できる運営方法に好感が持てた
- テーマは別々だが、導きだされるアイディアに共通
 - ・関連する部分が多かった
- 高校生の参加など、参加者の幅を広げてほしいのではないか



← ワールドカフェの様子



発表の様子 →

3 川崎の未来を考える市民検討会 | 幸区

日時	平成26年7月21日（月・祝）10時30分～16時
会場	幸区役所5階第1会議室
参加者数	参加26名/応募38名 男女別 男性15名、女性11名 年代別 20代3名、30代4名、40代6名、50代3名、60代7名、70代2名、 80代～1名

●主な意見（午前）

幸区のいいところ

- ・医療体制が整っている
- ・公害のないまちで素晴らしい市
- ・PTAの地域活動が盛んである
- ・何をするにも便利
- ・町内会がよくまとまっている
- ・文化施設が増え、教育に適したまち
- 等

10年後のまち

- ・歩道の拡張で歩きやすいまちに
- ・出生率を上げるための様々な子どもへの支援を
- ・働いている人、子どもがいる人、皆がまちづくりに参加できる
- ・異なる世代が住みやすい
- ・健康寿命UP
- ・川崎ならではの強み、文化、ブランド意識の醸成
- ・エコ都市化
- 等

●主な意見（午後）

災害対策や交通安全など安全安心なまちづくり

- ・個人が行動を判断できるように、防災や防犯に関する複数の情報伝達手段を整え、必要な場所や人に情報が届くシステムをつくろう
- ・自転車のルールやマナーが守られるよう、地域で見守ったり、声をかけるようにしよう
- 等

高齢化の進行と誰もが生き生きと暮らせる地域づくり

- ・元気な高齢者が高齢者や助けが必要な人を支える活動をボランティアではなくビジネスとして行う（生きがい、健康づくり、まちのインフラ、バリアフリー）
- ・多くの経験やノウハウを持ったお年寄りが、幼児（保育園）やそのお父さんお母さん、子どもたち（小中学校）に講師として教える機会をもつ
- 等

総合的な子ども支援の推進

- ・地域の中での世代をこえた交流を実現するため、自治会、町内会に若い世代が積極参加できるようにしよう
- ・所得制限など部分補助による小児医療費の補助をしよう
- 等

駅前拠点整備と新たなコミュニティづくり

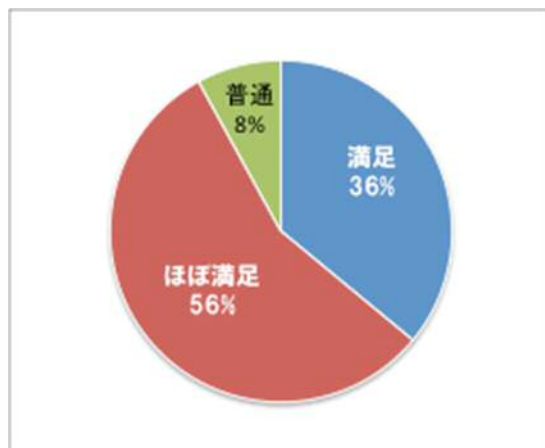
- ・人が集まる場（駅周辺、鹿島田・新川崎など）に行政のサービスがあると良い（行政サービスと住民の利用が混在した工夫）（子どもが遊ぶ、お年寄りが集まる）
- ・住んでいる人、訪れる人たちのシンボルとなる「駅」に。（シンボルとなる）みどりを植えるなど魅力的なしつらえを施そう
- 等

●アンケート結果

満足 9人 ほぼ満足 14人 普通 2人
やや不満 0人 不満 0人 計 25人

【主な意見】

- 川崎の現況は問題点などがわかって勉強になった
- 皆で楽しく、一生懸命に川崎のことを考えられた
- 今後もこのような機会に参加したいと思った



← 討議の様子
(グループ)



→ 討議の様子
(全体)

4 川崎の未来を考える市民検討会 | 高津区

日時	平成26年8月9日（土）10時30分～16時
会場	高津区役所5階第1・2会議室
参加者数	参加23名/応募45名 男女別 男性11名、女性12名 年代別 30代6名、40代5名、50代5名、60代4名、70代2名、80代～1名

●主な意見（午前）

川崎のいいところ

- ・町会の活動が素晴らしく合理的でよい
 - ・多摩川が近く花火大会がよく見える
 - ・緑もあり野鳥もいてすみやすいまち
 - ・物価が安く買い物が便利
 - ・高度な大企業が多い
- 等

10年後のまち

- ・全国に誇れる個性ある川崎
 - ・子育て世代と高齢者の交流のあるまち
 - ・わかりやすい行政サービスの提供
 - ・安全安心な子育てができる環境づくり
- 等

●主な意見（午後）

地域性に配慮した災害対策の推進

- ・まちで既に行われている防災活動を知らせる「(仮称) ミニまちの防災情報の家」を交番、商店、学校、コンビニと協力して増やそう
 - ・行政からの災害情報の伝達を効率的にできるように、日頃から住民は情報がやりとりできる人とのつながりを増やしておこう
- 等

高齢化の進行と地域の福祉・医療

- ・多世代が気軽に集まれるコミュニティの場があると良い（市民運営で役割分担、リサイクルで収益をあげる、子どもの面倒をみる）
 - ・職業人としてのスキルを活かして人を育てる、子育てのノウハウを活かすなど、活躍できる場や仕事があると良い
- 等

総合的な子ども支援の推進

- ・病気の時に子どもを預けられるように、①クリニック併設+行政の認可・補助、②専門のスキルを持った人が研修を受けてシッターになる、などの取組を推進しよう
 - ・子ども文化センター等の指定管理などをNPOに一括して委託し、防災拠点、多世代交流拠点、地域密着型の運営にしよう
- 等

歴史や文化資源など地域の魅力を活かしたまちづくり

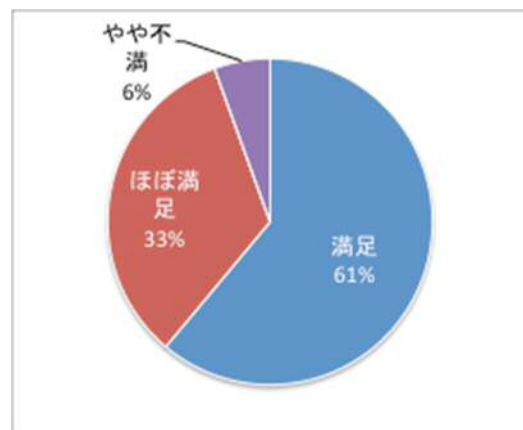
- ・里山的な自然環境を増やすことで、子どもの頃から人の営みに必要な五感を磨こう
 - ・歴史やものづくりの語り部との交流によって、高津の子どもが歴史に触れる機会を増やそう
- 等

●アンケート結果

満足 11人 ほぼ満足 6人 普通 0人
やや不満 1人 不満 0人 計 18人

【主な意見】

- 色々な年代、分野、観点からの意見を聞けて勉強になった
- 課題を知り、今後何をすべきか真面目に考える
よい機会となった
- 区民同士の意識の共有を図ることができた
- 時間が足りないくらいに感じた



← 討議の様子



討議の様子 →

5 川崎の未来を考える市民検討会 | 麻生区

日時	平成26年8月10日（日）10時30分～16時
会場	麻生区役所4階第1・2会議室
参加者数	参加26名/応募56名 男女別 男性16名、女性10名 年代別 10代1名、20代5名、30代4名、40代4名、50代5名、60代4名、 70代2名、80代～1名

●主な意見（午前）

川崎のいいところ

- ・都会と田舎が混在して住みやすい
- ・病院が多く医療が行き届いている
- ・街並みが美しい
- ・芸術のまちとして誇れる
- ・川崎＝公害のまちという等式を思い浮かばせないまち 等

10年後のまち

- ・高齢者や子育て主婦にも働く機会がたくさんある
- ・重い障害を持つ人がもっとまちにいて（市民が）手伝いをしているまち
- ・事実に基づいて意思が言えて世論の形成に参加できる教育をする 等

●主な意見（午後）

自助・共助・公助による災害対策の推進

- ・災害時（直後、少しあと、2～3日、1週間、落ち着いた時）に必要な情報が発信され、細かいエリア単位で簡単に受け取ることができる仕組みづくりをしよう
- ・防災対策を住民だけでなく、民間企業も連携して組み立てよう 等

高齢化の進行と誰もが生き生きと暮らせる地域づくり

- ・これまでのキャリアを活かし、地域のためになる仕事をみんなでつくって生きがいにしよう（楽しみながらできる、高齢者による子育ての見守り、公園の管理、保育ボランティア）
- ・楽しめる場が住宅地の中心にあると外出しやすくなり、引きこもりが減らせる（多世代でスポーツを楽しむ場所など） 等

農と環境を活かしたまちづくり

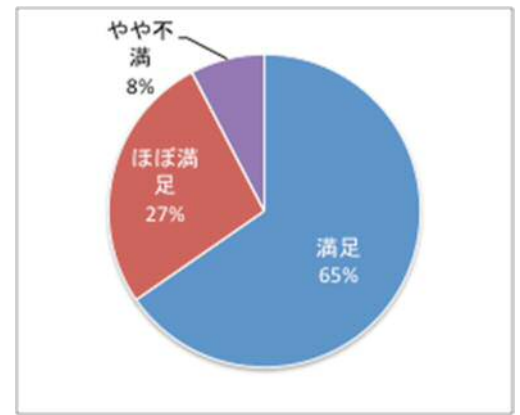
- ・多世代が「農」や「緑」をテーマに交流できる機会をつくり、さらにそれらを通じて実践の場につなげるために、参加の入口を広げよう
- ・学校のカリキュラムに「農体験」を積極的に取り入れて、給食で食べるなど、「農」や「緑」についての理解を育もう 等

芸術・文化のまちづくり

- ・緑豊かな麻生区の自然を生かして、野外音楽祭や市民スポーツ大会を開催しよう
- ・芸術系大学との交流や連携を通じて、子どもも大人も芸術や文化に触れる機会を増やそう 等

●アンケート結果

満足 17人 ほぼ満足 7人 普通 0人
 やや不満 2人 不満 0人 計 26人



【主な意見】

- 地域のことを真剣に考える機会となった
- 市政について興味を持つ良い機会となった
- 麻生区（川崎市）のことが好きになった
- 参加者に見識のある方が多く、規模も少人数で充実感があつた



グループ討議の様子



発表の様子

6 川崎の未来を考える市民検討会 | 中原区

日時	平成26年8月23日（土）10時30分～16時
会場	エポックなかはら7階大会議室
参加者数	参加27名/応募31名 男女別 男性11名、女性16名 年代別 10代1名、20代2名、30代8名、40代4名、50代2名、60代5名、 70代4名、80代～1名

●主な意見（午前）

川崎のいいところ

- ・自転車で移動しやすい
- ・スポーツが市民生活に根ざしている
- ・お散歩しやすい身近な自然
- ・バランスの取れたまち（生活、商工業、文化、交通）
- ・若い人が増えてまちに活気がある 等

10年後のまち

- ・自転車のまち川崎
- ・障がいのある方の地域参加
- ・未病対策60歳以上みな受診する制度の実施
- ・要介護の人も幸せに暮らせるように
- ・段取りのあるまちづくり（人口に見合うインフラ）等

●主な意見（午後）

地域防災力の向上と防犯対策

- ・日頃から地域コミュニティのつながりを強め、イベントを活用し今の時代にあった情報発信をしよう
- ・地域と企業の話し合いの場を行政が橋渡しし、地元の大企業や商店街と地域との連携を深めよう 等

自転車利用環境の向上と交通安全対策

- ・自転車利用者のマナー向上の前提となる基本ルール（道路交通法）を、学校などで親子で勉強する機会を積極的につくろう
- ・「自転車のまち川崎」といわれるように、自転車の利用者意識を市民ぐるみで高めよう 等

高齢化の進行と支え合いの体制づくり

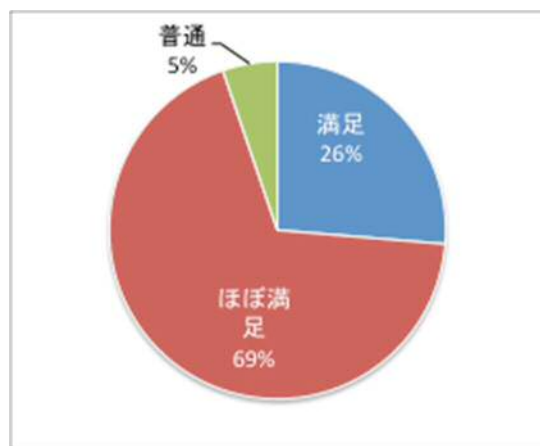
- ・今後増えていく高齢者のために空いた校舎や教室を活用して、ペットも一緒に高齢者とこどもが交流できるホームにしよう
- ・元気な高齢者、主婦、学生など、自分の時間に合わせて気軽にボランティア（声かけやお話）できる仕組みをつくろう 等

総合的な子ども支援の推進

- ・子育て支援センターを核として、親子や地域をつなぐ仕組みづくりをしよう
- ・こどもの遊び場が少なくなっている状況を解決するため、小学校の校庭開放やこどもの遊びやすい公園作りをしよう 等

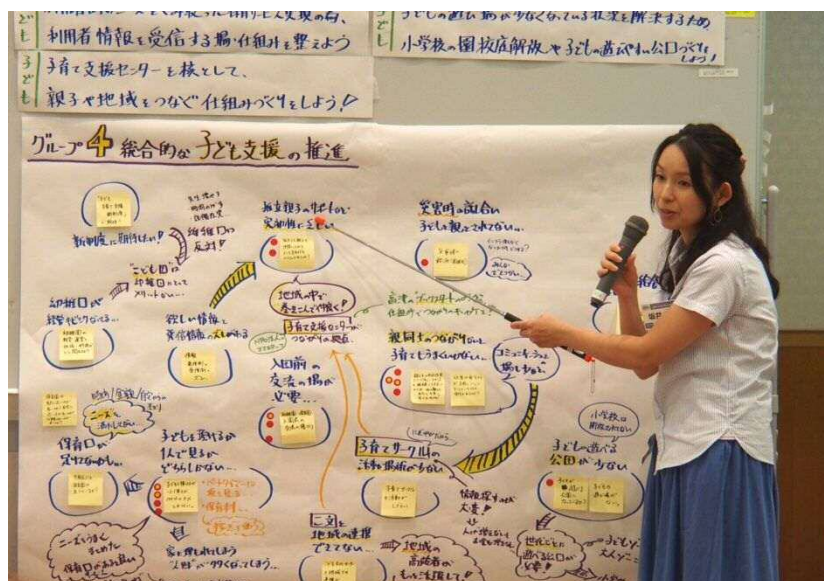
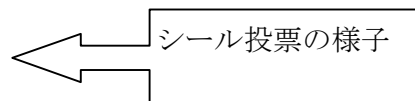
●アンケート結果

満足 5人 ほぼ満足 13人 普通 1人
やや不満 0人 不満 0人 計 19人



【主な意見】

- 多様な属性の方々と本音で語る中で色々な意見を共有することができ、面白く勉強になる検討会であった
- 区や市に対する興味が高まった
- 皆様の意識の高さに驚くとともに感心した
- 行政が直接地元の本音を汲み、コミュニケーションを図る素晴らしい取組である



発表の様子

7 川崎の未来を考える市民検討会 | 多摩区

日時	平成26年8月31日（日）10時30分～16時
会場	多摩区役所11階 会議室
参加者数	参加27名/応募37名 男女別 男性14名、女性13名 年代別 20代1名、30代3名、40代7名、50代6名、60代3名、70代4名、 80代～3名

●主な意見（午前）

川崎のいいところ

- ・犯罪が少なく落ち着いた環境
- ・生田緑地等の自然とふれ合える環境がある
- ・水がおいしい
- ・区内施設が充実している
- ・色々な国籍の人も仲良く共存している
- ・不便がないところ 等

10年後のまち

- ・災害時に自給自足できるまち
- ・保育先に困る親と元気な中高年のマッチング
- ・教育の場がたくさんあるまち
- ・自然の豊かさを活かしたまち
- ・地域で根付いて暮らせるよう雇用を増やす 等

●主な意見（午後）

高齢社会における生涯を通じた健康づくり

- ・退職者が地域で人の役に立つ、趣味を活かせるような機会づくりを進めよう
- ・交流する場や機会に関する情報を手に入れる、教える手段としてスマートホンなどIT機器の使い方を若者が高齢者に教え、高齢者からは色々なノウハウを学べるようにしよう 等

総合的な子ども支援の推進

- ・親だけでなく、地域や他の大人が子育てに関わる環境をつくろう
- ・虐待やいじめの心配があるときに、どこに相談したらよいかの情報の流れを整理しPRしよう 等

豊かな自然や観光・文化資源など地域の魅力を活かしたまちづくり

- ・多摩区の自然や観光地などを交通、遊歩道等でうまくつないで、訪れた人が楽しく回れる区にしよう
- ・「小沢城址×多摩の梨カフェ」など地域資源と多摩の食をコラボして魅力を発信しよう 等

駅前拠点整備など暮らしやすい生活環境づくり

- ・区内の移動を便利にするために、多様な手段を確保しよう
- ・斜面地の安全性を確保するため、安定化の工事、防災情報発信の仕組みを構築しよう 等

●アンケート結果

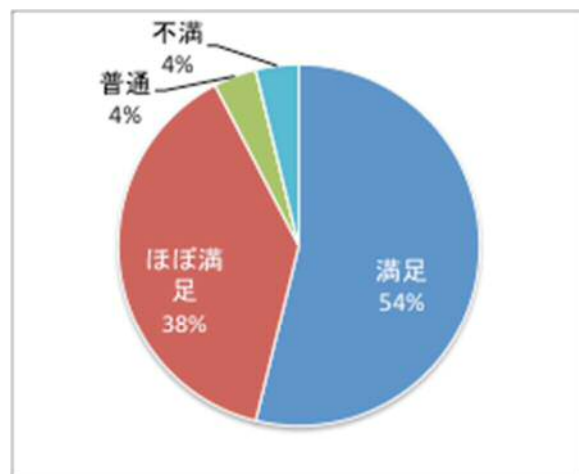
満足 14人 ほぼ満足 10人 普通 1人
やや不満 0人 不満 1人 計 26人

【主な意見】

○幅広い世代の意見が聞けてとても充実していた。
自分の目線では気づかない課題が多くあることも理解できた

○意見が出しやすい雰囲気楽しく参加できた

○有意義な議論が行えた



← 討議の様子



討議の様子 →